

1回だけの使用でも乱用です！犯罪です！

No! 薬物!

最近の薬物情勢は、覚せい剤関連の検挙人員が依然として年間1万1千人を超え、その押収量が3年連続で300キ以上、大麻関連の検挙人員が青少年を中心に増加の一途をたどるなど、誠に深刻な状況にあります。

また、芸能人による薬物事件が続発しており、青少年が薬物に対して好奇心や誤った認識を持つことが懸念されます。事実、神戸市では、昨年1月、4月、9月と市内の中学生が大麻所持により逮捕されるという残念な事件が続きました。

このような状況を踏まえ、町内の各学校でも「薬物乱用防止教室」を開催しているところです。(写真)



薬物の話を聞いて学びます



キャラバンカーが学校などにやってきます



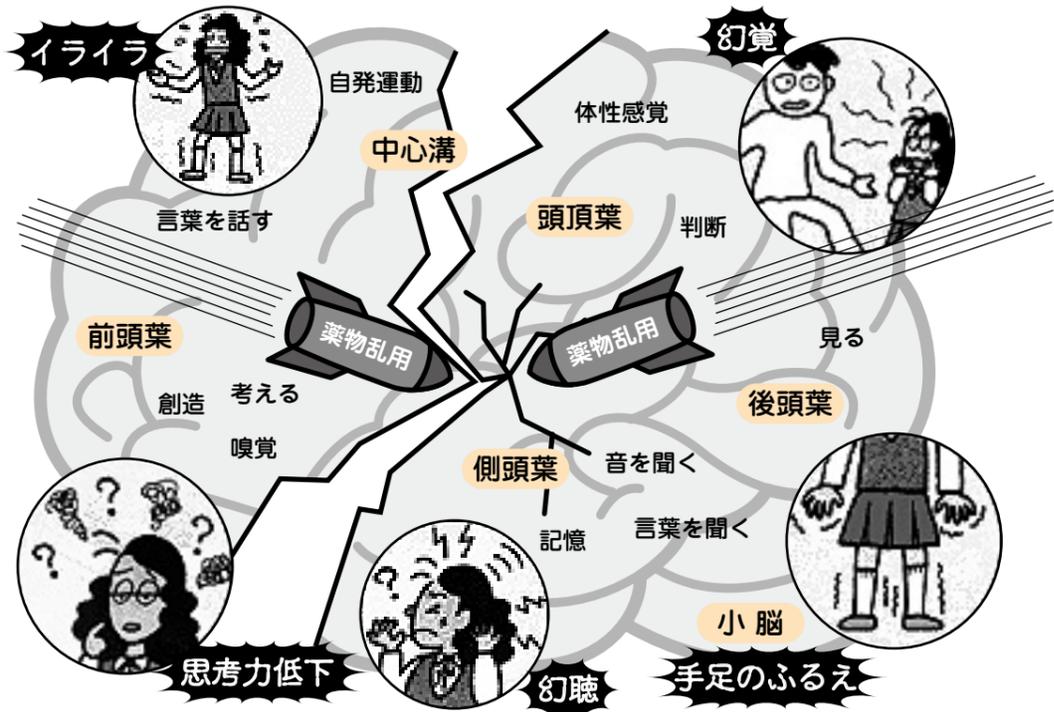
キャラバンカーの中には、薬物が体に与える影響をわかりやすく伝える展示がたくさんあります

心身への影響は...

10代は、心身の成熟とともに人格の形成に大切な時期です。自分の周囲に向けられていた視線が自己の内面に向けられ、自我の発見につながる時期であり、社会の一員としての行動様式や社会規範を習得し、自分らしさを発揮していく時期なのです。この大切な時期に薬物を乱用することで、脳や身体の成長がストップし、社会への適応能力が鍛えられず、薬物乱用者に特有な性格傾向が助長されます。人格の障害は情動面と意欲面の变化として現れます。さらに、道徳心が低下して反社会的な行動も見られます。

各学校では、キャラバンカーの活用や薬物乱用防止教室だけでなく、思いやりの心を育み自他の生命を大切にすることを教育に日頃から取り組んでおります。地域社会の環境は、子どもたちに大きな影響を及ぼします。これからの子どもたちを温かく見守っていただきますようお願いいたします。

薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」ホームページより



● 情動面での変化

- ・ いらいらして落ち着きがない
- ・ 人の立場を理解せず、わがまま
- ・ 責任を負わず、ひとのせいにする
- ・ 気短で、辛抱ができない

● 意欲面での変化

- ・ 無気力で、だらしない
- ・ 目標意識がなかなか持てない
- ・ 何かやろうとする意欲がわかない
- ・ 人つきあいを避ける
- ・ 自殺を考える

● 社会的不適応

- ・ 道徳心が低下する
- ・ 平気で嘘をつく
- ・ 言葉遣いが乱暴になる
- ・ 金遣いがあらく、借金がたまる
- ・ 物に当たったり、人に暴力を振るう

など

▶ 問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

1度しかない人生をメチヤクチャにします！

まつりで販売・見学・買い物



▲生徒が作ったものを販売しました

東はりま特別支援学校

秋晴れの下、11月6日(土)「大中遺跡まつり」
「古代体験・秋まつり」に参加し、販売・見学・
買い物を行ないました。販売した品物は、梅
干し・木や布で作ったコースター・鍋敷き・
陶器のコップなど、日頃、生徒が学習活動の
中で作り上げたものです。
次に、活動の様子を生徒の作文で紹介しま
す。

「今日は、秋まつりでした。販売をしました。
レシ係をしました。お客さんが、たくさん来
てくれました。たくさん買って来て、うれ
しかったです。販売の時間が終わったら、み
んなで買い物に行きました。たこやきとたこ
せんを買って食べました。おいしかったです」
お祭りの会場では多くの方とふれあい、販
売コーナーではたくさん品物を販売するこ
うできた1日です。

大好きになったよ、わたしの町



▲上から見てみると…

蓮池小学校 2年生

春、第1回目の町探検でスーパー・土山駅・
大中遺跡・土山商店街・住吉神社・圓満寺の
秘密をたくさん見つけました。
今回は第2回目の町探検。季節が変わった
道を通りながら、明姫幹線に到着です。車で
通ったり、何気なく行き過ぎていた道路です
が、よく観察すると、発見の多いこと。看板
の大きさや店の多さにびっくりしたり、歩道
橋から見える自動車の数や車道の多さにも驚
きの声。細い道路を通って帰りながら、明姫
幹線沿いの秘密を多く見つけることができ、
自分だけの播磨町を更に広げることができ
ました。
新しい発見をするたびに、播磨町が大好き
になる2年生の子どもたち。今度は家の人へ
の紹介です。いろいろな思いを交えながら、
楽しい話や発見の音が、茶の間をこだまする
ことでしょう。

盛り上がった文化祭



▲みんな上手だなあ

播磨中学校

10月29日(金)、ハロウィンをテーマに、体育
館が可愛らしく飾り付けられました。待ちに
待った文化祭!! 今年は3年生だけではなく、
全学年の合唱コンクールが行われました。こ
の2週間、放課後になると各クラスから気合
の入った、綺麗な歌声が響き、文化祭が近
づくにつれて、完成度が高くなっていきまし
た。各クラス、練習の成果を十分に発揮し、
素晴らしい歌声を体育館全体に響かせていま
した。合唱だけではなく、自由参
加のチームも頑張りました。コン
トあり、ダンスあり…。笑いと軽
快なリズムで大変盛り上がりまし
た。各教科や部活動の展示物も力
作ばかりで、感心しました。みん
なニコニコ笑顔の1日となりました。
大切な思い出の1ページとな
ったことでしょう。



思い出に残った修学旅行



▲みろくの里

▲原爆の子の像

播磨南小学校 6年生

10月21日・22日に1泊2日で広島に修学旅
行に行きました。天気が少し心配されました
が、雨に降られることはありませんでした。
広島に到着後、路面電車に乗りました。車
内は満員で、揺れるたびに子どもたちは声を
上げていました。八丁堀で降り、まず「お好み
村」でグループに分かれ、好きな店で広島焼
きを食べました。その後、徒歩で平和公園に
向かい、原爆ドーム見学後、「原爆の子の像」に
千羽鶴を捧げました。それから、原爆資料館
を見学しました。子どもたちは改めて核兵器
の恐ろしさを感じるとともに、平和への願い
を強く持ったようでした。2日目は厳島神社
参拝後、福山市の「みろくの里」に行きました。
クーポンで思い思いの昼食を取り、園内のい
ろいろな乗り物を心ゆくまで楽しんだよう
でした。平和を学び、大いに遊んで、一生の思
い出に残る楽しい修学旅行になりました。

大切な命を感じたよ



▲妊婦服を着て起き上がる体験をしました

播磨小学校 6年生

「命の教室」は、3年ぐらい前から6年生を
対象に播磨小学校で行われています。まず、
自分たちの命はどうやって生まれたのか、両
親の愛情のもと、生まれてきた大切な命で
あることを学びました。少し恥ずかしさを感じ
ていたようですが、最後にはみんな真剣な
表情で聞いていました。それから、4つのコ
ーナーに分かれて体験させてもらいました。
体験学習では、生まれてくる子にみんなで頑
張れと応援したり、10⁺もある妊婦服を着て、
段差のある所を歩いたり、起き上がる体験を
したり、お腹の赤ちゃんの模型を触ることも
したりしました。初めて聞くことや感じるこ
とが多くて、とても貴重な時間を過ごすこと
ができました。特に、赤ちゃんを産んだお母
さんの話を聞いている子どもたちの顔はうれ
しそうで優しい表情でした。この日は、命に
ついてたくさん感じた1日になりました。

早く、大きくな~れ!



▲土はふわっとかぶせてね

蓮池幼稚園

友達と一緒にチューリップの球根を植えま
した。「どんな色のお花にしようかな」と球根
選びをして、球根の上にかわつと土をかぶせ、
花が咲くのを楽しみにしています。
3歳児は、ミニダイコンやブロッコリー、イ
チゴの苗も先生と一緒に植えました。
2、3日後、朝幼稚園に来た時、土から芽が
出て生長している様子を見つけ「やったー!」
「見て! おおきくなってるよ」と子どもたちは
大喜びしています。
「おいしいダイコン
になってね!」と話
しかけながら生長を
楽しみに毎日水やり
をし、収穫するのを
楽しみにしている子
どもたちです。

